

授業概要

この授業では国際経営、アジア経営に関する初歩的な理論と日本企業のアジア進出の実践例について講義する。講義内容は、①日本企業の国際化と対外投資の歴史的背景、②アジア市場の特徴、③進出企業の経営戦略（特にマーケティング戦略、人材戦略、現地化戦略）、④異文化マネジメントにおける理論と実践例、⑤カントリー・リスクへの対応と課題、を中心に進めていく。なお、必要に応じて、以上の内容に関連する映像資料を併用する。

授業計画

第 1 回	オリエンテーション（講義内容、講義方法、評価方法、参考文献など）
第 2 回	導入授業：国際経営・アジア経営とは何か
第 3 回	日本企業の国際化と対外直接投資の契機
第 4 回	海外経営と現地調達率
第 5 回	アジア市場の特徴を理解する
第 6 回	アジア進出企業の経営戦略① マーケティング戦略
第 7 回	アジア進出企業の経営戦略② 人材戦略と現地化戦略
第 8 回	中間テスト
第 9 回	日本企業における BPO（Business Process Outsourcing）のアジア展開
第 10 回	東南アジア 3 カ国・台湾の日系企業・日本人イメージ
第 11 回	異文化環境におけるマネジメント
第 12 回	異文化ビジネスの実践例
第 13 回	アジアにおけるリスクマネジメント① カントリー・リスク
第 14 回	アジアにおけるリスクマネジメント② ビジネス遂行上のリスク
第 15 回	アジア経営におけるリスクにどう対応するか
第 16 回	期末試験（筆記試験）

到達目標

- 1、日本企業の海外投資の歴史と現状が概ね理解できる。
- 2、異文化マネジメントに関する初歩的な知識が習得できる。
- 3、アジア進出企業の経営戦略の基本が分かるようになる。

履修上の注意

- 遅刻・早退、授業中の私語・スマホ操作は厳禁する。
6 回以上無断欠席した場合、期末試験は受けられない。

予習・復習

- 1、指定されたアジア経営に関する参考書は一冊を通読することが望ましい。
- 2、事後学習として配布資料およびノートをしっかりと読み返し、内容への理解を深めること。

評価方法

期末試験（50%）、中間テスト（30%）、授業態度 20%）を総合して評価する。

テキスト

特に使用しない。講義内容に応じてプリントを配布し、参考文献を適宜指示する。